

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
4	6	定例	本会議	企画経営部	財政課	田中大議員	市の予算について、各部署の概算要求や市長査定前の財務担当部がとりまとめた原案を公表し、議会の各会派もしくは議員個人にヒアリングをしたり、意見を述べたりする機会が与えられるべきではないか。	予算編成過程の公表については、一定のメリットがある一方、意見を予算に反映させるとなると、仕組みの構築と予算編成スケジュールの大幅な見直しが必要となる。このような課題を踏まえ公開している市の取組状況や効果などについて研究するとともに、本市でどのような方法が可能か検討していく。 予算編成と議会の審議については、地方自治法の様々な規定に沿って、丁寧な審議等が行われていると認識している。	予算編成過程の公表について、引き続き他市の取組状況などを研究し、本市においてどのような方法が可能か検討していく。	未済	他市の公表状況等を研究していく。
4	6	定例	本会議	総務部	人材育成課	川口議員	就職氷河期世代の採用計画を作成してほしい。	答弁不要。	退職者や退職者数の見込み、障害者雇率の維持などを念頭に置きながら、大卒、高卒、障害者、就職氷河期世代の各区分の採用を行うが、今後大幅に職員数を増やす予定がない状況で各区分の採用者数は慎重に決定する必要があることから、就職氷河期世代の採用計画を作成することは困難である。	済	
4	6	定例	本会議	都市安全部	道路政策課	北山議員	JR武田尾駅のエレベーター設置について、市が予算を確保して設計、概算費用を出すなど取り組むべきではないか。	エレベーター設置について、どのように進めていくべきか改めて検討する。	エレベーターを設置するには、地理的条件などから技術的にも検討を要する。 JR武田尾駅のバリアフリー化に向けて、JR西日本と協議を行い、どのように進めるか検討する。	未済	JR西日本に対して、引き続きバリアフリー化の要望を行っていく。
4	6	定例	本会議	健康福祉部	高齢福祉課	たぶち議員	加齢性難聴者に対する補聴器の購入助成を行うこと。	補聴器には高額なものもあり、購入には多額の費用が必要になることは認識している。昨年度の県政要望において、軽・中度難聴者に対する補聴器購入費の助成について要望を行ったところであり、引き続き助成制度の創設について要望していく。 また、本年度に、県が実施する高齢者補助機活用調査の状況も注視していく。	市単独で新たな助成制度を創設することは困難であるため、引き続き国・県に助成制度の創設を要望していく。	未済	国・県に対して助成制度の創設について要望しているところである。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
4	6	定例	本会議	健康福祉部	高齢福祉課	中野議員	軽度認知障害(MCI)を早期発見する認知機能チェックの導入を行うこと	認知機能チェックにより現在の認知機能の状態を知ることが、認知症の予防に効果があるとされている食生活を見直したり、運動を行うなどにつながるかと考える。 認知機能チェックを導入している他市の状況について情報収集を行い、導入効果などについて調査研究していく。	認知機能チェックを導入している他市の状況について情報収集を行い、導入効果などについて調査研究していく。	未済	認知機能チェックを導入している他市の状況について情報収集を行い、導入効果などについて調査研究していく。
4	6	定例	本会議	健康福祉部	生活介護課	田中こ議員	市ホームページとしおりでは扶養義務について記載はしているが、今後は扶養義務の記載だけでなく、援助が期待できない扶養照会については、行わないことの記載もすべきである。 また、滋賀県の野洲市や北海道の札幌市が行っている生活保護の申請は権利であることを広く周知するチラシやポスターについても検討していくべきである。	今後は扶養義務の記載だけでなく、援助が期待できない扶養照会については、行わないことの記載も検討していく。 チラシとポスターについては、答弁なし。	今後は市ホームページとしおりでは扶養義務についての記載だけでなく、援助が期待できない扶養照会については、行わないことの記載も検討していく。 チラシとポスターについては、まずは広報誌を活用し、生活保護が国民の権利であることを周知する。8月広報誌で臨時特別給付金の広報と併せて周知を行う予定である。	未済	ホームページとしおりについても8月中旬に修正予定(しおりについては、現在のしおりの在庫がなくなってから対応予定)。 チラシとポスターについては、まずは広報誌を活用し、生活保護が国民の権利であることを周知するため、8月広報誌で臨時特別給付金の広報と併せて依頼中。
4	6	定例	本会議	子ども未来部	子ども政策課	藤岡議員	ヤングケアラー支援が進むよう、来年度の予算編成に向けて、国の動向も確認し、予算を獲得していつてほしい。	答弁不要。	検討会の中で協議を行い、国から示される内容を踏まえて、今後検討していく。	未済	検討会において、施策の実施を検討し、ヤングケアラー支援に必要な予算要求を行う。
4	6	定例	本会議	産業文化部	北部振興企画課	たぶち議員	市の施設である長谷牡丹園に合併処理浄化槽を設置すべきである。	長谷牡丹園は開園期間が短い。また、合併処理浄化槽は定期的を使用することで効果が発揮できるものであることから、今後合併処理浄化槽の設置が必要かどうか検討していく。	長谷牡丹園は春季に約1か月間開園している。令和4年度から指定管理者が交代し、認知度の向上や春季の誘客を目的に、年間を通じた施設の活用を予定しているものの1か月あたり2~3日程度の活用となる見込みであることから合併処理浄化槽設置の効果的な運用には課題があるが、来園者アンケートなども参考に必要性について検討していく。	未済	担当課との調整を行っていく。
4	6	定例	本会議	消防本部	総務課	北山議員	東消防署中山台出張所に救急車を配置するよう、要望する。	部内において、消防職員や車両の配置について市域全体を捉えた見直しを検討しているところである。 救急車の適正な配置について、地理的条件や救急車の到着時間、救急出動件数の推移などを分析し、中山台出張所への救急車配置も含め検討していく。	答弁に同じ。	未済	令和5年4月の組織案について、部内で検討しているところである。

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
4	6	定例	本会議	選挙管理委員会事務局		となき議員	ピラお断りのマンションが増えている。政治活動ピラの配布について、管理組合に協力をお願いすることはできないか。	様々な啓発活動を通じて、政治への関心を高めていただける取組を引き続き行う。	答弁に同じ。	済	現在の啓発事業を継続する。
4	6	定例	本会議	選挙管理委員会事務局		となき議員	選挙公報が市民の手元に届くのが遅い。規定上問題ないとしてももっと早く届けることはできないのか？	現在の制度では難しい。立候補届出日から期日前投票開始まで期間を設けるような制度改正を全国市区選挙管理委員会連合会などの場で議論している。	答弁に同じ。	済	引き続き全国市区選挙管理委員会連合会等を通じ、制度改正等を要望していく。
4	6	定例	本会議	選挙管理委員会事務局		となき議員	投票率アップを目指して、ポスター掲示場自体に選挙啓発の文言を掲げることを検討して欲しい。	答弁不要。	ポスター掲示場の空きスペースを活用し、ポスター、標語、ぬりえ等を掲示したことがあるが、今後も引き続き、より効果的な啓発に努めていく。	済	ポスター掲示場の空きスペースを活用し、ポスター、標語、ぬりえ等を掲示したことがあるが、今後も引き続き、より効果的な啓発に努めていく。
4	6	定例	文教生活常任委員会	管理部	学事課	横田議員	公立幼稚園が廃園になる中、他の私立幼稚園や保育所などの情報をホームページで案内してほしい。	公立幼稚園のホームページに私立幼稚園、保育所などの情報をリンクするよう更新する。	答弁に同じ。	済	令和4年6月に統廃合計画、幼稚園園児募集のページに保育施設等の情報追加を行った。
4	6	定例	文教生活常任委員会	管理部	学事課	浅谷議員	公立幼稚園での3年保育を拡充してほしい。通園手段も含めた今後の公立幼稚園のあり方について検討してもらいたい。	現時点での拡充は困難だが、今後の園児数の動向や私立幼稚園の受入れ状況等も見極め検討したい。公立幼稚園の今後のあり方については3年保育、通園手段も含めて考えていきたい。	3年保育の拡充には施設改修が必要となり、通園手段の解消には通園バスの検討が必要となる。	未済	公立幼稚園の今後のあり方については、今後の園児数の動向や私立幼稚園の受入れ状況等も踏まえて検討を行う。
4	6	定例	本会議	管理部	学事課	たぶち議員	西谷認定こども園について、地域内の待機児童を出さないようにしてほしい。	答弁不要。	現状では定員を超えて弾力的に受け入れることはできないが、西谷地域の方を優先的に受入れできるよう規則改正も含めて検討する。	未済	今年度中に西谷地域の方を優先的に受入れできるよう規則改正を含めて検討する。
4	6	定例	本会議	管理部	学事課	大島議員	マスク着用や黙食の緩和など、コロナ対策について他市の動向などを踏まえてしっかりと検討していただきたい。 マスク依存症や、絶えず不安を抱え学校に行きづらさを感じている子どもたちがいるので、マスク着用を強制することのないようにしてほしい。	現在の対処方針では、体育や登下校、屋外などではマスクを外すよう指導するほか、黙食を徹底することとしているが、他市の動向等を見極めながら緩和も含めて検討したい。	国や県、他市の動向も踏まえて対処方針を改訂することとし、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の徹底を行う。	済	

令和4年(2022年)

6月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
4	6	定例	本会議	学校教育部	幼児教育センター	藤岡議員	5年間の成果と課題を受けて、幼児教育センターの、今後の方向性について検討すべきである。	成果と課題を整理のうえ、幼児教育センターの役割を明確にし、全ての就学前教育の子どもたちを対象とした、就学前教育のさらなる充実に努める。	答弁に同じ。	未済	就学前教育の充実に向け、「宝塚市第二次教育振興基本計画」へ繋げるための「就学前教育・保育基本計画」を策定し、令和8年度より本格実施できるように努める。